

障害児通所支援に係る自己評価結果報告書

令和 7年 4月 1日

佐世保市指導監査課長 宛

届出者 所在地 長崎県佐世保市光町1-35
法人名 社会福祉法人 民生会
代表者 職 理事長 氏名 瀧下 貴之

1. 事業所の状況

事業所の名称	放課後等デイサービス リアン			事業所番号	4250200633
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援 (指定年月日) 年 月 日				
	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス (指定年月日) 平成30年 4月 1日				
	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援 (指定年月日) 年 月 日				
事業所の所在地	長崎県佐世保市光町1-35				
連絡先	電話	0956-59-6471	FAX	0956-59-6472	
メールアドレス	tsubomi@minseikai.or.jp				

2. 取組時期

①職員による評価	令和 7年 3月 6日 ~ 令和 7年 3月 22日
②保護者による評価	令和 7年 3月 6日 ~ 令和 7年 3月 24日
③訪問先施設による評価 (保育所等訪問支援のみ)	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
④事業所全体による評価	令和 7年 3月 25日 ~ 令和 7年 3月 29日

3. 公表結果

公表日	令和 7年 3月 31日
公表の方法	<input type="checkbox"/> 事業所のホームページに掲載 (URL :) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input type="checkbox"/> 保護者向けお知らせ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (掲示)

※各サービスの「事業所における自己評価総括表(公表)」「事業所における自己評価結果(公表)」「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」「訪問先施設からの事業所評価の集計結果(公表)※保育所等訪問支援のみ」及び公表方法が広報紙、通知等の場合は配布した物を1部、掲示の場合は掲示場所の写真を添付してください。

担当者氏名	前田 侑美	連絡先(Tel)	0956-59-6471
-------	-------	----------	--------------

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス リアン		
○保護者評価実施期間	令和7年3月6日		~ 令和7年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年3月6日		~ 令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全ての箇所について、バリアフリーになっており、利用者目線の施設の構造となっている。	学習活動・巧緻訓練	さらにこどもに寄り添った環境設定に努めていく。
2	利用児童と保護者の気持ちに寄り添った支援を行っている。	送迎時や、連絡帳、電話連絡時等、保護者に寄り添った支援を行っている。	余裕を持った送迎予定を組むことで、送迎時の直接やりとりできる時間を充実させていく。
3	法人内の他の事業所と連携し、当法人ならではの資源を活用して、乗馬体験、馬車体験、お茶体験、水遊び等様々な活動を体験することができる。	乗馬体験・お茶体験は毎月、馬車体験は担当スタッフの都合によるがほぼ毎月、水遊びは夏季、長期休暇や祝日等の終日利用の日には法人内事業所の見学、法人内で営業しているカフェでの外食体験等を行っている。	法人内だけではなく、法人外、他法人の事業所や、地域の公共施設等、活動の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職 (PT,OT,ST) が不在。	該当職種の職員が不在。	来年度より、法人内巡回にて支援に入る予定。
2			
3			

令和6年度

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス リアン
------	----------------

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 令和7年3月時点 17名

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	70%			30%	基準配置の職員2名と加配職員及び運転手がおります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	80%			20%	支援プログラムに則った支援を提供させていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%			10%	個別の支援計画が何月と何月に作成されるのか知りたいです。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%			10%	毎月固定で行っている活動（乗馬体験・お茶体験・お誕生日会等）と、季節に合わせた活動を行っています。今後も楽しい活動を提供させていただきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	10%	20%	50%	今年度は感染症の影響もあり実施が出来ませんでした。来年度は是非開催したいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	80%			20%	わからないことがありましたら、職員へお尋ねください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10%	30%	10%	50%	来年度は是非開催したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	90%			10%	わからないことがありましたら、職員へお尋ねください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	70%	20%		10%	わからないことがありましたら、職員へお尋ねください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				これからも共感的な支援に努めて参ります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		20%	40%	40%	今年度は感染症の影響もあり実施が出来ませんでした。来年度は是非開催したいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%			10%		わからないことがありましたら、職員へお尋ねください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50%	20%		30%		鋭意努力してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%			10%		ご不明な点等ございましたら、遠慮なく職員へお尋ねください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%			50%		マニュアル等は策定されておりますが、周知・説明が不十分であったと拝察いたします。発生を想定した訓練については、実施した際にはお知らせしていきたいと思えます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%			50%		地震や大雨、火災等の発生を想定した訓練を定期的に行っております。活動内容カレンダーにも記載されておりますので、ご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%			10%		安全の確保が十分に行った上で支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%			10%		事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、事業所から速やかに連絡や事故が発生した際の状況等について説明を行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	10%			毎行くのを楽しみにしてるので安心して預けられます。	これからも楽しい活動を企画していきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					これからも満足して頂けるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月31日			
放課後等デイサービス リアン					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	利用児童の特性に応じて職員の配置を行なっている。加配職員も配置している。	若手の人材が不足しているため、若手の人材確保に努めていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	全面的なバリアフリーに対応している。	こどもにわかりやすく構造化された環境をより整えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	令和6年に改訂されたガイドラインを踏まえながら、日々の支援に取り組んでいる。	よりこどもに寄り添った支援ができるように日々の業務に努めていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	勤務時間の関係でその日は難しい為、次の日の昼礼で行っている。	情報を常に共有ができる環境を整えていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	・予定はしていたが、感染症のリスクを考慮し、実施していない。 ・コロナ前はしていたが、コロナ期になり、行なっていない。今後再開したいと思っている。 ・地域の子や他のこどもたちとは、関わることは時々ある。	感染症のリスクを考慮しつつ、開催を目指して努めていきたい。 地域のイベントなどにも可能な限り、積極的に参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66%	33%	来年以降実施したい。	・企画はするものの、実施ができていない。来年度は実施したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	・コロナ期でなかなか開催できなかったが、今後は開催したいと思う。 ・来年以降実施したい。	・企画はするものの、実施ができていない。来年度は実施したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	・以前は行っていたが、コロナ期に入り、行っていない。 ・来年以降実施したい。	・以前は実施していた。来年度は実施できるように努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		対象となる子どもが現時点でいない。	該当者が利用することになった場合に備えて事前に対応できる準備を整えておく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		対象となる子どもが現時点でいない。	該当者が利用することになった場合に備えて事前に対応できる準備を整えておく。	

